

臨時総会(第10回)・新春経済講演会・賀詞交換会

日時:令和6年1月23日(火)15:30~ANA クラウンプラザホテル秋田 4F「ベガ」・「シリウス」

1月23日(木) ANA クラウンプラザホテル秋田を会場に、理事会(第36回)、第10回臨時総会、新春経済講演会が開催されました。新春経済講演会は、日本銀行秋田支店長 片桐大地氏を講師に迎え、「2024年の秋田の経済展望」と題して講演いただき、講演終了後は賀詞交換会を開催し、会員の懇親を深めました。



臨時総会(第10回) 出席者219名 (うち委任状参加者154名)

湊屋会長総会挨拶



新年明けましておめでとうございます。会員の皆さまには、健やかに新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年は、7月の豪雨により、秋田市を中心に多くの地域で大災害にみまわれました。被災された方々にあらためてお見舞い申し上げますとともに、一日も早い復旧をお祈りいたします。

昨年の賃金引上げ率は30年ぶりの高水準となりました。最低賃金につきましても過去最高の増加額で決着し、10月から適用されております。賃金は、生産性の改善・向上による利益の安定的な増大に伴って引き上げられていくことが望ましいわけですが、昨年は人材の流出防止や物価上昇への対応などを背景に、利益の一部還元というよりも労働力確保のため、また働き手のインセンティブを高めるため、止むにやまれず防衛的な賃上げを行った企業も一定程度あったものと思われま。

今年も、持続的・構造的な賃金引上げを求める方向性に変わりはありませんが、業績向上を伴わない賃上げを毎年実施していくことには無理があります。分配のためには成長が不可欠であり、そのためには適正な価格転嫁の推進も含め、「稼ぐ力」を高めていかなければなりません。

年末に経団連で地方団体長会議がありました。席上、各地域の経営者協会の会長から十倉経団連会長に対し、大企業の価格転嫁の積極的な受け入れ推進について経団連の強力かつ実効ある取組みが必要との指摘が相次いだところであります。

野村総研の推計によれば、秋田県の労働者数は2015年の43万人から30年後の2045年には半分以下の19.6万人まで減少するとのこととあります。秋田県ではすでに女性や高齢者の労働参加率が全国平均を上回っており、潜在労働力の余地が少ない状況にあります。我われ企業経営者は、生き残りをはかるうえでも、人手不足が常態化する環境を想定し、生産性向上策を積極的に推進していく必要があります。

秋田県経営者協会では、今後とも「企業の課題解決への貢献」と「使使用者サイドに立った提言・発信」を使命とし、会員の皆さまと問題意識を共有しながら地域の発展に向けた努力を続けて参ります。どうぞ変わらぬご支援・ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。会員企業さまが、それぞれの経営課題に積極果敢に取り組み、益々のご発展を遂げられますことを心よりお祈り申し上げます。新年のご挨拶とさせていただきます。

第1号議案 役員等（理事・幹事）の選任

中山悟氏が理事を退任し、新たに佐々木久則氏が理事に就任、また、幹事に小松忠彦氏、中島信勝氏が就任しました。

・新任理事・幹事

役職名	支部名	新任者名	所属企業名
理事	能代支部	佐々木久則	(株)秋田銀行能代支店 執行役員支店長
幹事	秋田支部	小松 忠彦	秋田県農業協同組合中央会 会長
幹事	秋田支部	中島 信勝	(株)東北機械製作所 代表取締役社長

第33回理事会 出席理事10名 監事2名 5F「スピカ」

理事会は、新会員の承認と会長・専務理事の職務執行報告を審議し、承認しました。新規承認となった会員は次の4社です。よろしくお願いたします。

支部名	会員企業名	代表者名	役職名
能代支部	(有)安田保険プランナー	清水 証	代表取締役
秋田支部	日本海建設電気(株)	直川 雅俊	代表取締役
秋田支部	佐島電機(株)アプライド プロダクト事業本部	茂木 達哉	本部長
由利支部	由利石油(株)	山科 優	代表取締役



第36回理事会